



発行所
 財団法人 日本手芸作家連合会
 〒160-0023
 東京都新宿区西新宿5丁目25番13号
 パラガイハイツ9階C室
 電話 03-3374-3359
 FAX 03-3374-3352

青は藍よりいのでて

藍より青し



岡谷 長恭 子

ア色の透明なブルーが広がり、遙か遠い海の水面は深い藍色を湛えています。藍色の魅力は手工芸作品の様々な部門でその輝きを發揮しています。

会員の皆様方におかれましては益々ご清祥のことと心よりお喜び申し上げます。

季節は早くも初夏となり、今年もすでに一年の半分が過ぎようとしています。本日に時の流れの早さに驚くばかりです。

季節にはその時々を象徴するよいうな「色」があります。初夏の色は私にとっては「ブルー」なので

晴れた日、空を仰げばサファイ

「学は以って已むべからず。青は之を藍よりいのでて藍より青し」という言葉を残しています。学ぶことを止めてはならない。あの美しい藍染めの青は藍という植物の葉から取った染料で染めるが、心を込めて染め上げた青は元の染料の藍よりもっと美しい青に染め上がる」と述べて、自らの道を究める時の真理を先の言葉の中に示しています。

時まさにその深い意味を感じさせるかのようなブルーの季節の到来と私は感じています。

皆様方も第42回創作手工芸展の出品を目指して、研鑽の極みとも

第186号 4月号

- ◆ 会長新年度あいさつ
 - ◆ 平成21年度事業計画
 - ◆ 第42回創作手工芸展作品公募要項
 - ◆ 輝ける人々 第七回
 - ◆ アフリカボランティア活動
- 創作布の花作家 山本昭子先生

平成21年度事業計画

去る3月7日開催の理事会・評議員会におきまして、今年度の事業計画案が承認されましたので、ご報告いたします。

本連合会におきましては、予算書(ホームページ参照)にあるとおり今年度も財政的に厳しい1年になりそうですが、寄附行為に掲げる手工芸の普及・発展向上に寄与するべく、会を挙げて事業の遂行にあたる所存ですので、会員の皆様方のお一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

1 第42回創作手工芸展開催について

手工芸を志す方々の研究成果の発表の場として、今年も上野の東京都美術館において左記のとおり創作手工芸展を開催いたします。今回で創作手工芸展も早42回目を迎えますが、今まで以上に内容の充実した素晴らしい展示会になることを願っております。会員の方はもとより、一般の方々からも多数ご出展いただけるものと期待いたしております。

①会期：平成21年11月23日(月)～29日(日)

②会場：東京都美術館第一彫塑室B



2 資格認定者への免状等
授与について

平成21年度の資格認定者に対する修了証・免状授与式を左記のとおり執り行います。

- ①期日：平成21年11月27日(金)
- ②会場：上野精養軒

3 研修会について

今年度は、夏期に韓国旅行を企画しておりましたが、新型インフルエンザの世界的流行に配慮し、やむを得ず中止することになりました。

4 機関誌・パンフレット等の刊行について

今年度も機関誌を年3回発行する他、本連合会の案内書(パンフレット)を増刷し、広く会のPRに供します。

5 社会福祉活動について

恒例になっておりますが、創作手工芸展の会期中にチャリティーバザーを行い、その収益金を社会福祉団体(NHK厚生文化事業団)に寄付いたします。

第42回創作手工芸展
作品公募要項

第42回創作手工芸展の出品作品を左記の要領で募集いたします。

なお、今回もコンクールに加え「ハンドクラフトコレクション展」を同時開催いたしますので、奮ってご参加ください。

(1) 募集作品

未発表の手工芸作品

(2) 募集期間

平成21年10月1日(木)～6日(火)

(3) 出品手続

所定の申込書・作品票に記入の上、作品の写真(カラー・はがき大)を2葉添えて本連合会事務局に申し込む。

(4) 作品規格

- ①壁面(屏風含む)・平面・立体 共に170cm×180cm以内
- ②奥行き90cm以内
- ③重量(木枠含む)50kg以内
- ④破損しやすいもの・生木・生花不可

(5) 応募費用

- ①会員 1万5千円
- ②一般 1万7千円

③学生 7千円
※本連合会のゆうちょ銀行口座へ送金のこと。

(6) 審査期日

平成21年11月15日(日)

(7) 審査員(五十音順・予定)

- 石尾清子先生(元東京家政大学教授)
- 高部和子先生(元文部省視学官)
- 田口義明先生(漆芸作家・山形芸術工科大学非常勤講師・紫綬褒章受章)
- 鶴岡真弓先生(多摩美術大学教授)
- 林泉先生(文化女子大学教授)

(8) 賞

文部科学大臣賞・東京都議会議長賞・大妻コタカ賞・日本手芸作家連合会会長賞・審査委員長賞・優良賞・奨励賞・努力賞・アイデア賞・佳作・協賛会社特別賞

(9) 授賞式・祝賀会

- ①期日：平成21年11月27日(金)
- ②会場：上野精養軒

(10) 出展等の問い合わせ先

(財)日本手芸作家連合会事務局

ハンドクラフトコレクション展
募集要項

(1) 募集作品

- ①国内外の美術展において賞を得た作品
- ②その他手芸作家の愛蔵品

(2) 募集期間

平成21年10月1日(木)～6日(火)

(3) 出品手続

所定の申込書・作品票に記入の上、作品の写真(カラー・はがき大)を2葉添えて本連合会事務局に申し込む。

(4) 作品規格

- ①壁面(屏風含む)・平面・立体 共に縦×横×奥行360cm以内
- ②重量(木枠含む)50kg以内
- ③破損しやすいもの・生木・生花不可
- ④規格外の作品は要相談

(5) 出品料

- ①会員 8千円
- ②一般 1万円

※本連合会のゆうちょ銀行口座へ送金のこと。

(6) 出展等の問い合わせ先

創作手工芸展と同じ



輝ける人々 第七回

今回は本会の各教室訪問として創作布の花作家でいらっしゃる山本昭子先生に原稿をお願いいたしました。

思い返せば、昭和40年代憧れの京都に住み、この古都であり乍ら近代的なセンスを併せ持つ不思議な魅力を探ろうと飛込んだのが「フラワーデザイン」の世界でした。後に布花のアレンジに大いに役立ちましたが、美しく咲いた花首を切り落とし其処にワイヤを掛けケヤコサージュを作るのは、花が「痛いよー」と泣いているような気がして、自由に想いのままに咲かせることが出来る造花の世界に



山本昭子先生(右端)と「創作手仕事四人展」

転向したのでした。私ブ

ラ、ブライドの花を咲かせたい、私だけの花園を造りたいと、白い布を切り染料を刷き、コテを使って寝食を忘れての創作の世界に没頭しました。一番心を砕いたのは花の色でした。「生花の色をそのまま描いたのではコピーでしかない」。私が創り出す花は私の心の色で咲かせるのだ・渋さの中に華やかさ・淡い色はただの薄さではなく深みのある色」と追求して参りました。

そんな折、故小田切東江先生との出会いがあり、子供の時から組織とか体制に背を向けて来た私ですが、先生の優雅な作品と奥深いお人柄に



惹かれて当作家連合会に迷わず入会させて頂きました。怖いもの知らずで二年に一度の割で展示会も開き私の世界を広げて参り、非常に充実した時代でした。当時たおやかに活動しておられた「エリカ支部」の皆様の創作意欲の刺激を受け、また生徒達の大いなる応援で後押しをして貰ったお陰だと深く感謝しております。

エリカ支部解散後は、未だ陽の目を見ない花達が「早く咲かせて頂戴」とせがんでいる夢を見ます「一寸待ってね、少しの間休ませてね」と言いつつ想像の世界で花を育てています。また生徒さん達には好きな花を、好きな時に、好きなだけ自由に楽しみなながら咲かせる教室にしようと思っせと種蒔きをして居ります。きっと何時の日か、また幻想的な花園を公開して、皆様にお会いしたいと願っております。

山本 昭子

デモンストレーション 体験記

欧風刺繍の実演にご来場の皆様が大変興味を示して足を止めて下さいました。初めてのの方は、刺繍には図案があり、それに従っていろいろな色糸を用いて一針一針刺しながら作品を仕上げることにとても興味を示され、熱心に聞いて



下さいました。

また経験者の方からは専門的な質問もあり、皆様方の関心の深さを感じました。

私自身初めての経験で緊張しましたが先生方の協力のもとにスムーズに事が進みました。今日のように実演を通して少しでも多くの方々に興味関心をもっていただけたらこの上ない喜びです。

緊張もしましたが、とても楽しい一日でした。

カトレア支部 崎村 倭文字

チャリティのお願い

第42回創作手工芸展でも例年と同じくチャリティを予定しております。別紙にて御案内しておりますので、皆様の積極的な御協力をお待ちしております。

アフリカボランティア活動

相澤 ふみ江

最近、日本でもいろいろなボランティア活動が盛んになってきました。常々、公益について考えている当連合会も、今年は積極的にボランティアに取り組むことになりました。

中村千秋さんの事は、TVや新聞雑誌でご覧になられたり、著書等を読まれてご存知の方もいらっしゃるかと思いますが、アフリカゾウの研究者で、20年間アフリカでお過ごしになった方ですが、アフリカ女性の自立にも力を注いでいらっしゃいます。これまでには、洋裁等の技術を現地の女性方に教えて生活の改善に役立つなどの成果をあげていらっしゃいます。



先生とボランティアの皆さん



中村千秋さんと、お手伝い下さった先生方、ボランティアの方

その中村千秋さんが、昨年十一月の「創作手芸展」を見に来て下さり、当会の手芸技術に大変関心を持って下さり、新しい取り組みとして、当会に技術指導の依頼がありました。

二月にボランティアの方々のアフリカに渡り、現地の女性に指導をしたいということなので、一月の十九日と二十六日に連合会事務局に於いて粘土細工によるアクセサリーの講習会をしました。

当日は会長初め、数人の会員の先生方がお手伝いに来てくださり、庄子先生のご指導の下、アフリカボランティア活動の皆さんと和気

藹々と楽しく講習会が出来ました。この時の講習会で技術を覚えた方々が二月にアフリカのケニアに行かれ、アフリカ女性に技術の指導をされました。

アフリカでの技術指導の詳しい様子は、中村千秋さんが報告会という形で当会員の方々にお話下さるとの事ですので、報告会を大変楽しみに待ち望んでいるところですが、何枚かの写真と「現地でも大変好評だった」との言葉をいただきました。

写真からは、大変楽しそうなアフリカ女性たちの姿を感じます。今後も、使い古した筆を集めてアフリカに送る等のボランティアも計画されており、日本に留まらず、世界に躍進していく当連合会に頼もしさを感じるこの頃です。



アフリカでの講習会の様子

平成20年度免状取得者

講師免状

田代恵子(福岡)

事務局だより

平成21年度継続年会費の納入をお願いいたします。

〔送金先〕

ゆうちょ 銀行口座番号

00100・5・85006

※ゆうちょ銀行への送金が、他の金融機関からでもできるようにしました。その場合は、振込用紙に次のように記入してください。

① 銀行名(ゆうちょ銀行)

② 支店名(019)

カナ(ゼロイチキュウ)

③ 預金種目(当座)

④ 口座番号(0085006)

(財)日本手芸作家連合会事務局
電話番号

03(3374)3359

ファックス番号

03(3374)3352

メールアドレス

info@syugei-sakka.jp

URL

http://www.syugei-sakka.jp